

平成三十一年度

# 適性検査Ⅰ

9 : 0 0

}

9 : 4 5

## 〔注意〕

- 1 この問題冊子さつしは一ページから十八ページにわたって印刷してあります。ページの抜け、白紙、印刷の重なりや不鮮明な部分ふせんめいなどがなければ、確認かくにんしてください。あつた場合は手をあげて監督かんとくの先生の指示にしたがってください。
- 2 解答用紙は二枚まいあります。受検番号と氏名をそれぞれの決められた場所に記入してください。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入し、解答用紙を二枚とも提出してください。
- 5 字ははっきりと書き、答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。
- 6 文章で答えるときは、漢字を適切に使い、丁寧ていねいに書いてください。

横浜市立

南

高等学校附属中学校

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校

このページには問題は印刷されていません。

次の【会話文】を読んで、あとの問題に答えなさい。

【会話文】

みなみさん 冬休みに祖母の家へ行きました。そのとき親戚の人たちが聞きなれない言葉を使っていて興味をもちました。たぶん方言だと思うのですが。

りかささん おばあさんの家はどこにあるのですか。

みなみさん ① 鹿児島県です。

りかささん 今でも鹿児島県には多くの方言の形が残っているのでしょうか。

みなみさん 【資料1】を見てください。これは、都道府県を方言の形が残っている割合の高い順に上から並べたものです。

りかささん 鹿児島県の値は80%を超えていますね。これは全国で（あ）番目に高い値だから、鹿児島県には多くの方言の形が残っているといえそうです。鹿児島県以外に沖縄県や秋田県なども方言の形が多く残っているようですが、地域による傾向が何かあるのでしょうか。この表からは読み取ることが難しいのですが。

先生 ② 方言の形が残っている割合に応じて、都道府県をぬり分けた地図を作ってみると分かりやすいと思いますよ。

みなみさん 作ってみましょう。

りかささん 作成した地図をみると、関東地方から距離が離れるほど、方言の形が残っている割合が高くなっているようです。

みなみさん でも、北海道は東北地方と比べて方言の形が残っていないようです。東北地方より北海道の方が関東地方から離れているのになぜでしょうか。

先 生 北海道は、明治以降に開拓かいたくのため日本の各地から人々が移り住んだことによって、共通語が多く話されるようになったと言われています。

みなみさん 歴史と関係があったのですね。

先 生 (い) 県は、長野県に接する都道府県の中で方言の形が残っている割合わりあいが最も高くなっています。これは、2つの県の高山脈があることが一因だといわれています。

みなみさん 地形も関係があるのですね。

先 生 方言の形が残っている割合にも地域差ちいきさがありますが、方言の形の分布にも地域差があります。【資料2】  
【資料4】を見てください。どのようなことが分かりますか。

りかささん 「居る」は **A**、「かたつむり」は **B**、「しもやけ」は **C** ということがわかります。

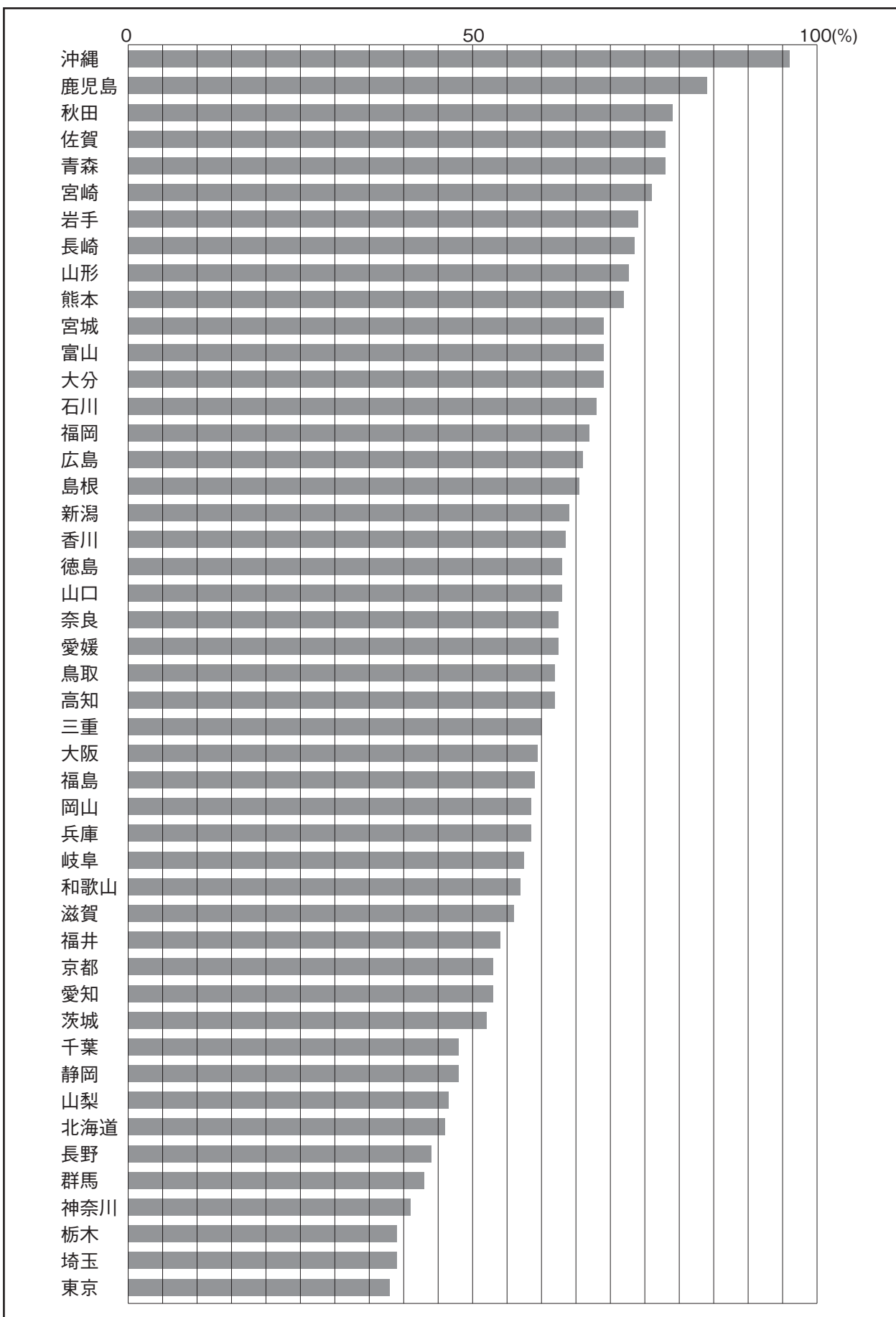
先 生 そうですね。それぞれの分布のパターンを、「東西分布」「周囲分布しゅうけん」「日本海太平洋型分布」といいます。「東西分布」は、日本アルプスなどの山々が境界となっていて、その東西で言葉が変化することによって起こったことだといわれています。「周囲分布」は、文化の中心地に新しい表現が生まれ、それがだんだん周囲に広がったことで生じたものだといわれています。「日本海太平洋型分布」は、日本海側と太平洋側の気候の違いが言葉に影響えいきょうを及ぼしたものだといわれています。では、【資料5】は、どのパターンにあてはまるのでしょうか。

みなみさん (う) ですね。

りかささん その背景はいけいや事情によって分布の仕方が異ことなってくるのですね。

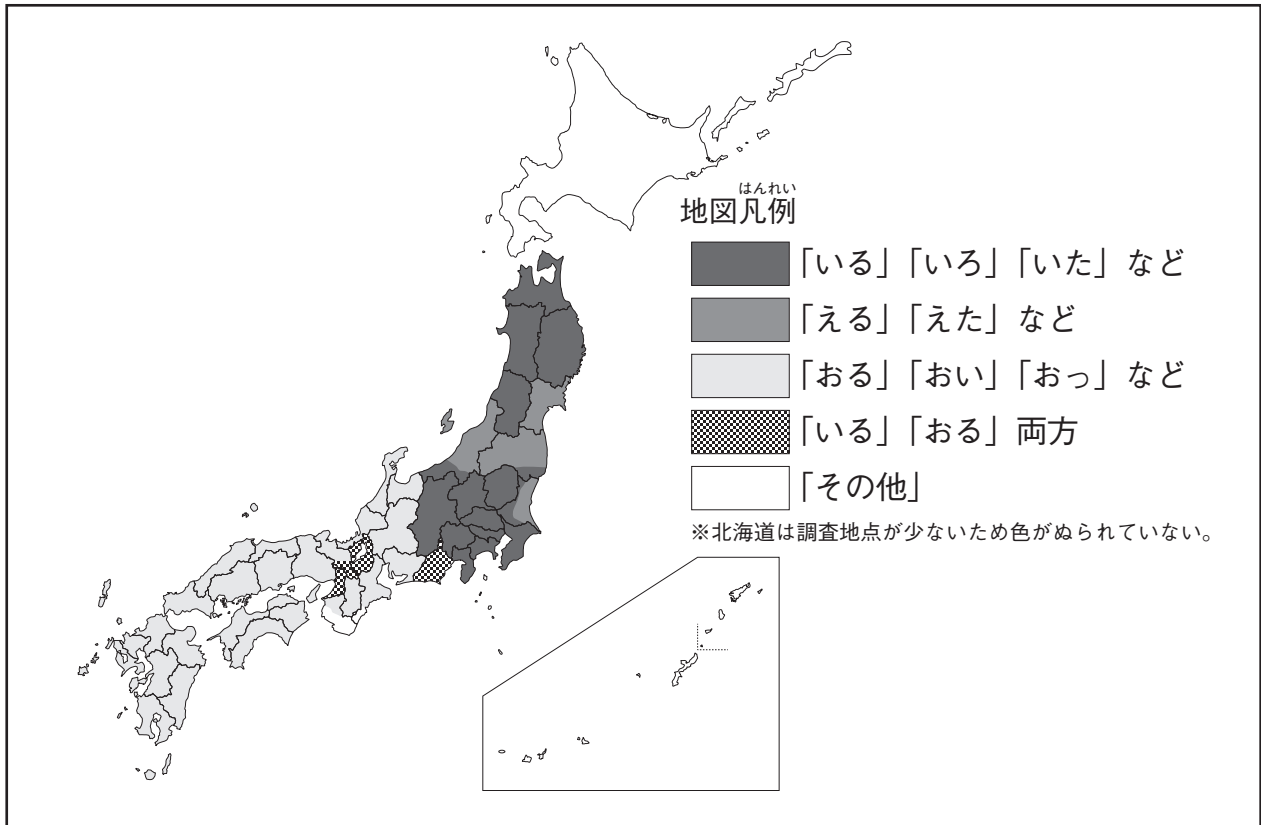
先 生 何事も「なぜそうになっているんだろう」と興味をもつことが大事ですね。

【資料1】 方言語形残存率



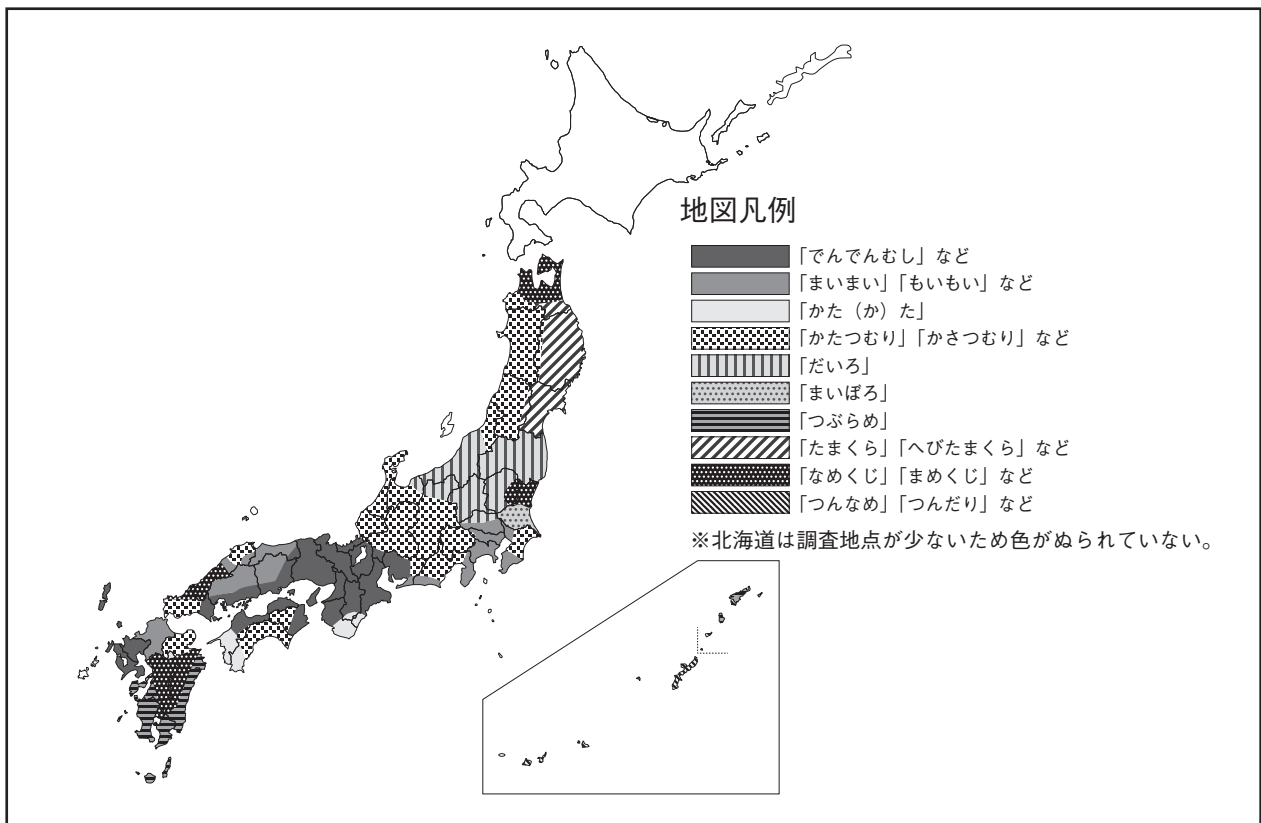
(真田信治『方言の日本地図』をもとに作成)

【資料2】「居る」の方言分布



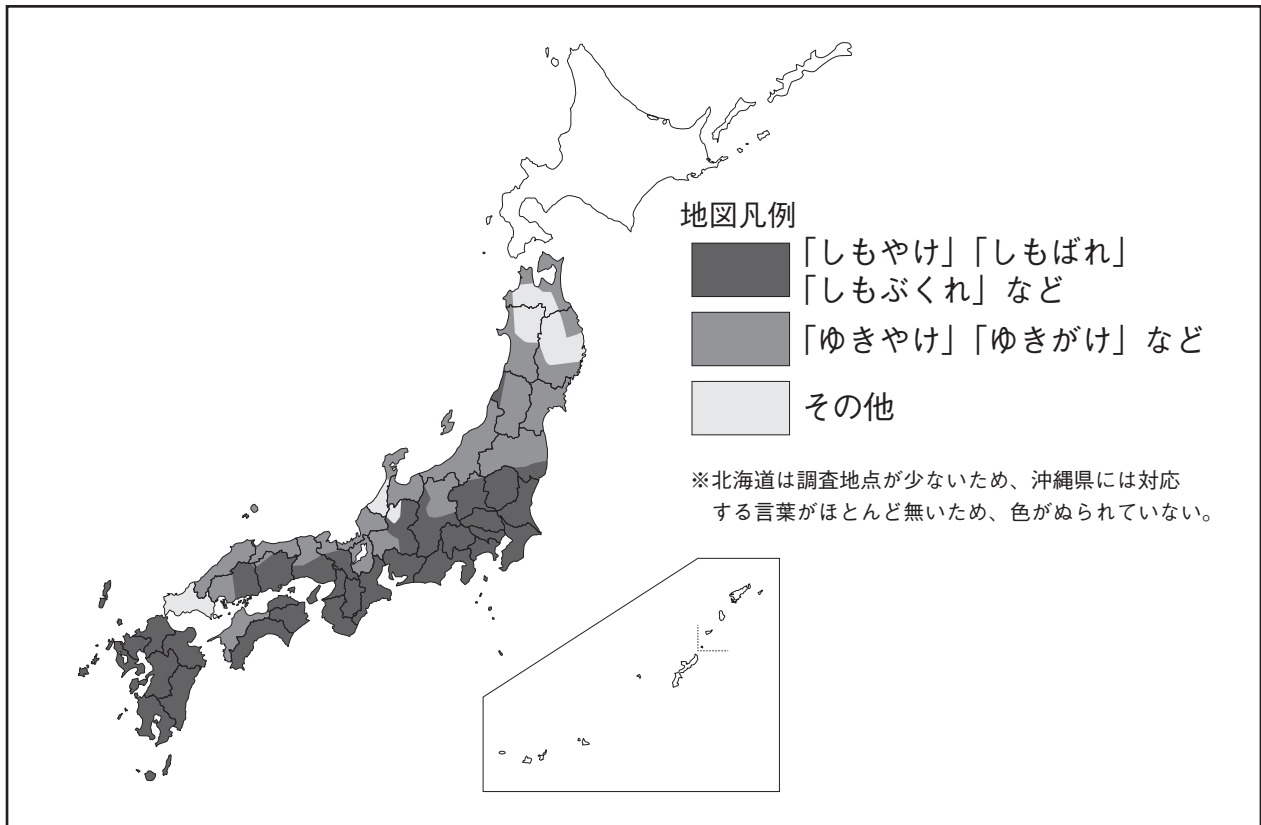
(『なるほど地図帳 2018 ニュースと合わせて読みたい日本地図』をもとに作成)

【資料3】「かたつむり」の方言分布



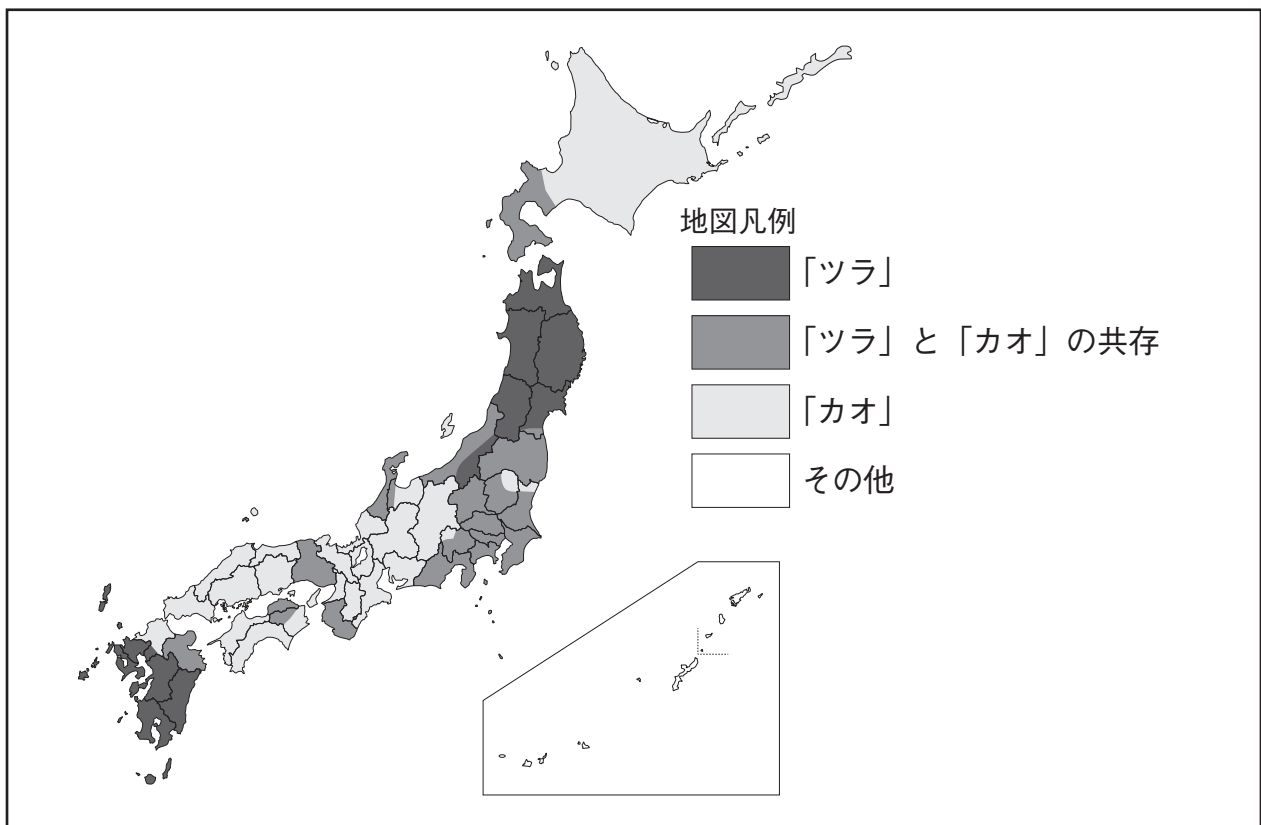
(『なるほど地図帳 2018 ニュースと合わせて読みたい日本地図』をもとに作成)

#### 【資料4】「しもやけ」の方言分布



(『なるほど地図帳 2018 ニュースと合わせて読みたい日本地図』をもとに作成)

#### 【資料5】「顔」の方言分布



(「共同体社会と人類婚姻史」ホームページをもとに作成)

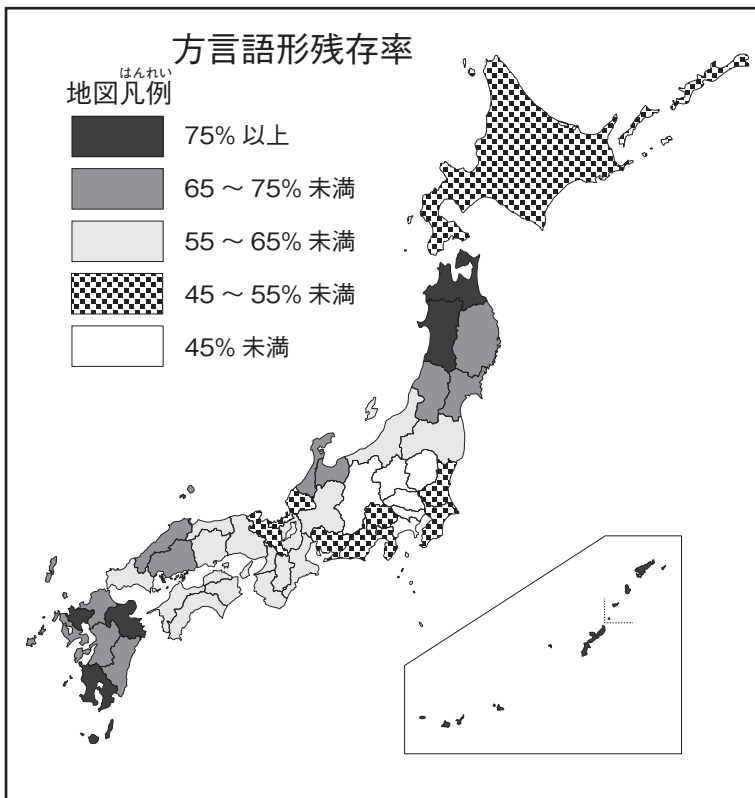
問題1 【会話文】 中の——線①について、この地域の出身で、明治天皇を中心とした新政府をつくった人物として適切なものを次のア～オから二つ選び、記号を書きなさい。

- ア 勝海舟 かつかいしゅう
- イ 西郷隆盛 さいこうたかもり
- ウ 陸奥宗光 むつむねみつ
- エ 大久保利通 おおくぼとしみち
- オ 木戸孝允 きどたかよし

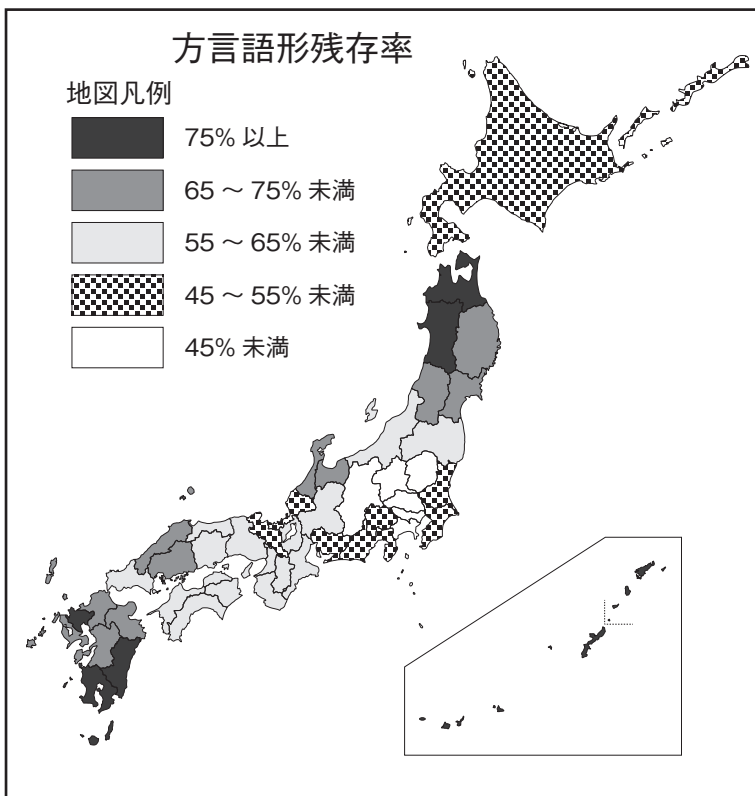
問題2 【会話文】 中の（あ）にあてはまる数を書きなさい。

問題3 【会話文】 中の——線②として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア



イ



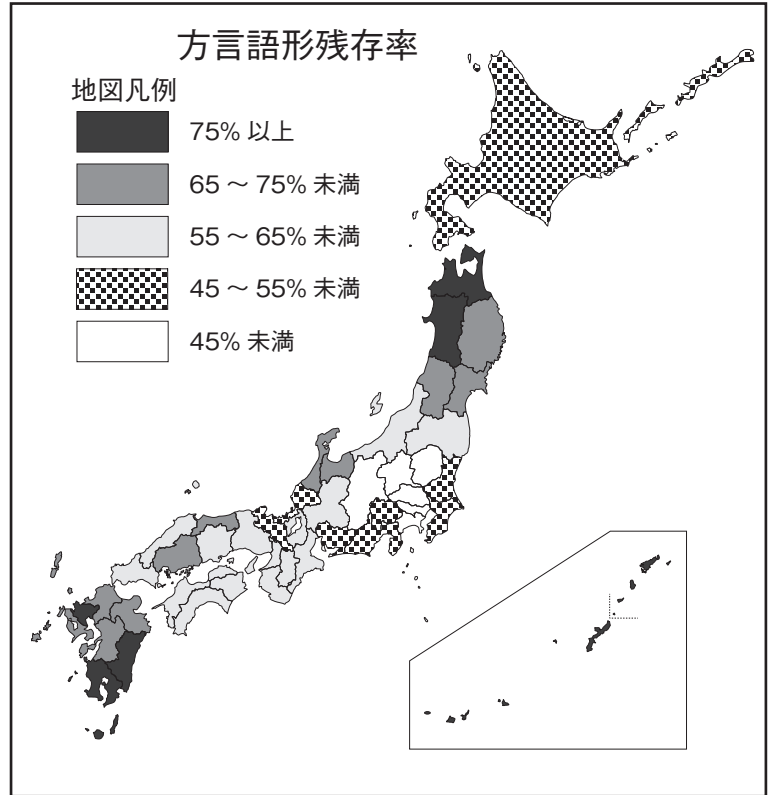


問題 4

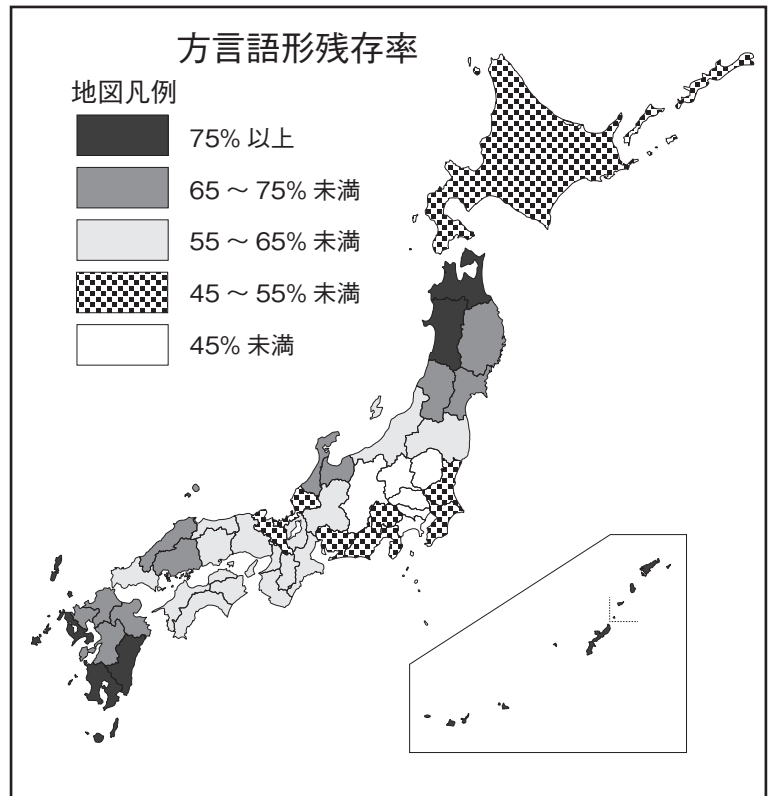
【会話文】

中の（い）にあてはまる県名をひらがなで書きなさい。

ウ



エ



問題5 【会話文】 中の **A** ～ **C** にあてはまるものとして最も適切なものを、次のア～カからそれぞれ一つ選び、記号を

書きなさい。

ア 京都や奈良周辺の地域には「でんでんむし」など、長野や富山周辺の地域や四国の太平洋側には「かたつむり」「かさつむり」など、青森県北部や熊本や宮崎周辺の地域には「なめくじ」「まめくじ」などというように、京都や奈良などを中心としていろいろな表現が周りに分布していつている

イ 岐阜周辺の地域には「でんでんむし」など、秋田や山形周辺の地域や四国の太平洋側には「かたつむり」「かさつむり」など、青森県北部や熊本や宮崎周辺の地域には「なめくじ」「まめくじ」などというように、岐阜を中心としていろいろな表現が周りに分布していつている

ウ 山地に「ゆきやけ」などが、平地に「しもやけ」などが多く分布していつ、山地と平地とで表現が異なっている

エ 日本海側に「ゆきやけ」などが、太平洋側に「しもやけ」などが多く分布していつ、日本海側と太平洋側とで表現が異なっている

オ 日本の北側に「おる」などが、南側に「いる」などが多く分布していつ、北側と南側とで表現が異なっている

カ 日本の東側に「いる」や「える」などが、西側に「おる」などが多く分布していつ、東側と西側とで表現が異なっている

問題6 【会話文】 中の（う）にあてはまる語句として最も適切なものを、次のア～ウから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 「東西分布」    イ 「しゅうけん 圏分布」    ウ 「日本海太平洋型分布」

このページには問題は印刷されていません。

問題7 言葉について興味をもったみなみさんは、【資料6】を見つけました。【資料6】を読んで、三百字以上三百五十字以内で【資料6】が伝えていることを複数の段落だんらくをつくってまとめなさい。ただし題名は書かずに一行目、一マス下げたところから、原稿用紙げんこうようしの適切な使い方にしたがって書くこと。

【資料6】

# 省略

# 省略

# 省略

# 省略

# 省略



# 省略

(外山 滋比古『ものの見方、考え方』より。一部省略やふりがなをつけるなどの変更へんこうがあります。)

〔注〕

- ※1 滔々たる・・・たくさんの水がいきおいよく流れるさま。また、そのようなようす。
- ※2 機微・・・人の心や人間関係などのおくにひそむ微妙な動き。
- ※3 吟味・・・こまかいところまで、念入りにしらべること。
- ※4 端的に・・・はっきりしているようす。
- ※5 刺戟・・・「刺激」に同じ。
- ※6 緊密・・・ものごとのむすびつきがしっかりしていて、くいちがいがないうようす。
- ※7 弁別・・・それぞれの特徴のちがいを見きわめて、区別すること。
- ※8 排他的・・・自分の仲間以外の人や、ちがう考えかたを受け入れようとしないうようす。
- ※9 イメージ・・・「イメージ」に同じ。
- ※10 当用漢字・・・国民が日常使用するとして示された漢字。
- ※11 常用漢字・・・当用漢字にかわって、一般の社会生活における使用の目安として定められている漢字。

問題8 次の【資料7】はりかさんが見つけた本の一部分です。【資料7】と【資料6】を読み比べて、二つの資料に共通する考え方を読み取って四十字以上五十字以内で書きなさい。ただし題名は書かずに一行目、一番上から書くこと。

【資料7】

# 省略

(真田 信治 『方言は絶滅するのか』より。一部省略やふりがなをつけるなどの変更へんこうがあります。)

〔注〕

- ※12 均質・・・ものの、どの部分をとってみてもむらがなく、同じ性質や状態であること。
- ※13 爛熟・・・文化などが、極度に発達すること。

